

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

69

2022/4



当院は、太陽光発電、外壁外断熱、屋上緑化等の設備を備え、患者さんに良質な療養環境を提供しています

Zoom Up!
OzuCentral Hospital

病院
案内

【施設全景】

当院は、「患者さまに優しい病院、職員に優しい病院、環境に優しい病院」をコンセプトにリニューアルして、平成25年12月にグランドオープンしました。年間約3,500名の外来患者さん及び約1,100名の入院患者さんが当院をご利用下さっています。病院を利用される全ての方々が安全で快適にお過ごし頂けるように、施設・設備の保守管理業務を行っている部署が総務課施設管理部門です。業務内容は、施設・設備の保守管理業務に加えて、外構施設保守管理、環境衛生管理、植栽管理、医療ガス供給設備管理、清掃業務、産業廃棄物関連業務、省エネルギー対策など多岐に渡っています。今号は、いわゆる病院の「縁の下の力持ち」的な役割を果たしている総務課施設管理部門（以下施設管理と略す）についてご紹介します。

安全でより快適な病院環境を提供するために、様々な施設・設備の保守・点検を行っています。

<施設・設備の保守・点検>

病院の施設・設備には、病院の建物及び建物外の施設、医療ガスや吸引設備など医療に関するもの、エアコンや給排気設備など療養環境に関するもの、ベッドや車いすといった備品など、様々なものがあります。病院は、24時間365日休みなく稼働しており、途切れることなく医療を提供するためには、これらの定期点検やメンテナンスが欠かせません。例えば、医療ガスや吸引ポンプに関しては、毎日の動作確認や残量確認を行って、異常を早期発見するようにしています。特に、配管設備に関しては定期点検を行い、劣化した箇所や不具合の恐れのある箇所を事前に点検することで、機能維持及びトラブル防止に努めています。この他にも、電気設備、受水槽、消防設備、エレベーターや滅菌装置など、法令で定期的な点検が義務づけられている重要な機器に関しては、年間計画を立てて専門業者に点検を依頼すると共に、点検時には立会いを行い、保健所や消防署等への

報告を行います。これらの機器は、何らかのトラブルが発生すると、病院運用に大きな支障をきたすものばかりですので、不足の事態が発生しないよう業者と綿密なスケジュール調整の下、早めに部品交換等の対応を行うようにしています。このように、修理や更新を行うのはもちろんですが、建物や設備に関しては、中・長期に渡る運営方針や費用対効果を考慮した修繕計画の策定を行っています。

<修繕業務>

定期的な保守点検を行っていても、物品の故障や日常発生する設備や機器のトラブルは避けることが出来ません。例えば、ベッドやナースコールの故障、排水管の詰まり、カーペットの汚染、空調トラブルなど様々なことが起こります。施設管理では、これらの多様なトラブルに迅速に対処するとともに、常に修理用の部品を確保して不測の事態に備えています。



病院設備の保守・点検を確実に行うことで、
施設の安全で円滑な運用を支えています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【医療ガスの定期点検】

<室内温度や換気の管理>

当院は、全病室に全熱交換型換気機器による換気システムを導入し、24時間換気を行っています。このシステムは、室内の温度を逃がさず換気できるシステムで、室内の温度変化を最小に抑えた換気が可能です。病室に設置されたエアコンは、事務所で集中管理を行っており、夏は24～28℃、冬は18～22℃に室温を設定して、エリアごとに快適な温度が保てるように調節を行っています。また、エアコンや換気扇は、定期的に動作確認やフィルター清掃を行い、清潔な空間作りと感染防止対策を心がけています。



エアコンのフィルター交換

備蓄品の管理や職員への防災訓練など、 災害への備えを行っています。

南海トラフ地震は、今後30年以内に80%の確率で発生すると言われており、医療機関も大きな被害を受けることが想定されています。施設管理では、これらの災害に備えて、栄養科と連携し非常食や非常用飲料水などの備蓄品の管理を行っています。使用期限を確認して定期的な入れ替えや補充を行うと共に、実際の災害を想定して備蓄内容を見直し、必要な物品がすぐに使用できるようにしています。また、転倒の恐れがある棚は全て固定するなど、環境面のリスクを最小限に抑えられるように対策をとっています。

施設管理の職員が、防災対策委員会に所属し、年に2回開催する防災訓練の企画・運営も行っています。消火設備や防火扉などの防災機器の定期確認を行うと共に、防災訓練時には実際に防災用設備を見て取扱いの指導を行うなど、職員が冷静で迅速な対応ができるように訓練を重ねています。

環境に優しい病院を目指して、 省エネルギー活動に取り組んでいます。

当院は、新病院建設の際に環境への負担軽減を考慮して、様々な省エネルギーに関する設備を取り入れました。その一つが外壁外断熱で、建

物全体を断熱材で包み込むため、熱を逃がさず防湿性にも優れています。また、太陽光発電設備を導入し、オール電化による省エネにも取り組んでいます。太陽光発電や給湯設備は、季節ごとに細かい調整を行うと共に、電気の消し忘れの確認などの日常点検を行って、エネルギーの無駄を無くすよう努めています。毎月の使用エネルギーは、データ集計及び分析を行って、更なる省エネルギーにつながるようになっていますので、新病院では旧病院と比較して1㎡あたり約15%の消費エネルギーの削減を達成しました。同規模病院と比較しても当院の消費エネルギー量は約75%と少なく、当院はエネルギー効率が高い病院と言えます。

ご紹介した業務の他にも今年度は、昨年12月に2階の屋上庭園の樹木にイルミネーションの飾りつけを行い、病棟の患者さん楽しんで頂きました。今後は、もっと多くの方に喜んで頂けるように、工夫をしていきたいと思えます。

施設管理の職員は、患者さんに直接お会いする機会は少ないかもしれませんが、良質で安全な医療の土台を支える重要な役割を担っています。最新の設備が整った病院であっても、保守管理が適切に行われなければ、十分な機能を果たすことは出来ません。当院を利用される全ての皆さんに、安全で快適な環境を提供するという「病院の当たり前」を守るために、今後も更なる改善に取り組んでまいります。

山下 ^{やす つぐ} 優嗣 先生

整形外科医 鳥取大学(平成3年卒)



主な学会所属と資格認定

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会脊椎背髄病医
- 日本手外科学会専門医・指導医
- 日本マイクロサージャリー学会
- 日本肘関節学会
- 中四国整形外科学会
- 西日本整形災害外科学会

山下先生は、日本手外科学会指導医*であり、手指の切断や末梢神経障害などによる指の機能異常に対する治療を行うことができます。一般的な整形外科疾患に加え、手の骨・腱・靭帯損傷、手根管症候群、肘部管症候群、四肢皮膚欠損創への皮弁や微小血管外科・再接着なども行います。

*日本手外科学会指導医とは
指定された整形外科または形成外科学会にて6年間の研修を受けた後、それぞれの専門医試験に合格し、更に「手外科」の研修を受け、手外科の専門医試験に合格した医師のことを言います。



押し寿司

■材料 (4人前)

| 材料 | | 具材 | |
|-----|--------|----------|----------|
| 米 | 2合 | 鶏ひき肉 | 80g |
| 寿司酢 | | 乾燥しいたけ | 1~2枚 |
| 酢 | 60ml | にんじん | 30g |
| 砂糖 | 大さじ3 | 砂糖 | 小さじ1と1/2 |
| 食塩 | 小さじ1/2 | うすくちしょうゆ | 小さじ1 |
| | | さくらでんぶ | 15g |
| | | 卵 | 2個 |
| | | 菜の花 | 2本 |
| | | 小えび | 60g |

■作り方

- ①米は寿司用に少し固めに炊飯する。
- ②乾燥しいたけは水で戻しみじん切り、にんじんもみじん切りにする。
- ③鶏ひき肉を小鍋で炒め、しいたけ、にんじん、だし汁少量、砂糖、うすくちしょうゆを加えて水分が少なくなるまで煮て、粗熱をとっておく。
- ④卵2個で錦糸卵を作る。菜の花はゆでて3cmに切る。小えびは塩茹でする。
- ⑤酢、砂糖、塩を合わせて良く混ぜ、寿司酢を作る。団扇で扇ぎ、冷ましながら寿司酢を米全体になじませる。
- ⑥酢飯を3等分に分ける。ラップを敷いた容器に酢飯の1/3を平らに敷き詰める。酢飯の上に具材をまんべんなく敷き、さらに酢飯の1/3を敷き詰める。酢飯の上にさくらでんぶをまんべんなくふりかける。その上に残りの酢飯を敷き詰める。最後に同じ大きさの容器を重ねて酢飯全体を押す。
- ⑦容器をひっくり返して切り分けて、上に錦糸卵、菜の花、小えびを飾る。



Point
最後に全体をよく押すと
崩れずきれいに仕上がります

大洲中央病院栄養科

院内美術館



『ローズインブルーム』
レスリーセイヤー 作

花々が語りかけてくるものを感じとり
鮮やかな色彩で描き出す

今回ご紹介するのは、本館4階デイルームにある、「花の画家」として色とりどりの美しい花の絵を描き、日本でも人気のある画家、レスリーセイヤーの「ローズインブルーム」。『幸せでないと描けない』と本人が言うぐらい、彼女の作品は心を豊かにしてくれる。



レスリーセイヤー/1947年アリゾナ州フェニックス生まれ/1969年アート・センター・カレッジ・オブ・デザイン・パサディナ校卒業/1989~93年ロサンゼルス、ニューヨーク、ロサンゼルスのアートエキスポに出演

次号はリチャードスピア「アクアジグ」をご紹介します。

臨床実習指導者講習を受講しました

リハビリテーション科では、後進育成の為に養成学校からの実習生を受け入れています。2020年の養成施設指定規則改正に伴い、実習生の指導に当たって臨床実習指導者講習の受講が必要になりました。今回受講した講習では、学生が充実した実習が出来るように、臨床実習制度の理念や臨床実習プログラムを学び、学生に対するハラスメントや指導者としての在り方を理解するために、実際の実習場面を想定したシチュエーションを考察して、その対処法などの学習も行います。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの受講でしたが、各病院などの実習指導担当者の方々との意見交換も行いました。自分達の実習時代との変化に戸惑いもありましたが、今後指導を行っていく上で、実習生との人間関係の構築や指導上の注意点が学べ、とても有意義な講習でした。この講習で学んだことを活かして、質の高い医療を提供できるよう、後進の育成にも励みたいと思います。



リハビリテーション科 武知 雅之

応援物資をいただきました

2月7日に大洲喜多法人会様より、当院の医療従事者に「愛媛県大洲のいもたきカレー」と「愛媛のお肉で作ったチキンカレー」を贈呈して頂きました。これは、新型コロナウイルス感染症対策に尽力している医療従事者への支援として頂いたものです。地元の食材が使用されている心温まるお品に、医師や看護師をはじめ職員全員が励まされ、心身ともに大きな支えとなりました。本当にありがとうございました。

また、この他にも沢山の方からの温かいお言葉や、団体様からのマスクやガウン等の寄付を頂戴しております。皆様におかれましても大変な状況にある中で、沢山のご支援を頂き本当に感謝の言葉しかありません。

厳しい状況はまだ続きますが、皆さんからのご支援に応えられるように、職員が一丸となって良質で安全な医療を提供できるよう、今後も努めて参ります。



総務課 九鬼 宏美

非常食のご紹介

当院の非常食についてご紹介します。当院では、災害時に備えて、入院患者さんと職員の人數分の食糧(7日間分)と飲料水(10日分)を備蓄しています。様々な疾患の患者さんに対応するため、一般の方向けの常食を始め、食べやすさに配慮した柔らかい食事、ミキサー状のおかず、経口摂取が困難な方の濃厚流動食など各種取り揃えています。非常食は、賞味期限が5年以上と長いものもありますが、半年程の短いものもあるため、当院では定期的に職員用給食などに活用して、使用した分を補充しながら備蓄する「ローリングストック方式」を採用しています。また、栄養面が充実していることはもちろんですが、非常時でも食べやすいものを備えるようにしており、試食を重ねながら、数年ごとに内容の改定を行っています。

今後も改善を重ねて、非常時でも温かく衛生的で安全な食事が提供でき、患者さんに安心を届けられるように努めてまいります。



栄養科 藤岡 真里子

外来診療医師一覧表

| 診療科目 | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 | 日曜 |
|-------|--------|-------|-----|-------|-------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 内科 | 1診 | 上原 貴秀 | 休診日 | 大久保啓二 | 大久保啓二 | 上原 貴秀 | 大久保啓二 |
| | 2診 | 岡本 傳男 | | 岡本 傳男 | 上原 貴秀 | 岡本 傳男 | 岡本 傳男 |
| | 3診 | 井上 明子 | | 井上 明子 | 井上 明子 | 大久保啓二 | 非常勤 |
| | 4診 | 浅川 建史 | | 清家 愛理 | 清家 愛理 | 非常勤 | 浅川 建史 |
| 外科 | 1診 | 森岡 徹 | 休診日 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | 森岡 徹 | 森岡 徹 |
| | 2診 | 満谷 臨 | | 満谷 臨 | 満谷 臨 | 満谷 臨 | 満谷 臨 |
| 整形外科 | 1診 | 山下 優嗣 | 休診日 | 山下 優嗣 | 山下 優嗣 | 愛大医師 | 山下 優嗣 |
| | 2診 | | | | | | 藤澤 圭史 |
| 泌尿器科 | | 清水 公治 | | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 | 清水 公治 |
| 脳神経外科 | 1診(新患) | 西原 潤 | | 西原 潤 | 西川 真弘 | 重川 誠二 末廣 諭 | 橋本 尚樹(第1) 重川 誠二(第3) 戸田 茂樹(第2-4) |
| | 2診(再診) | 西川 真弘 | | 西川 真弘 | 西原 潤 | | 西原 潤 |
| 形成外科 | | | | | | 真田紗代子(第1-3-5) 森 秀樹(第2-4) | |

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
(日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜総合病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、
喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、
市立八幡浜総合病院(夜)

編集後記

桜前線を皮切りに、チューリップ、ハナミズキ、フリージアと沢山の花が次々と咲き、そろそろ富士山のツツジが満開の時期を迎えます。病棟の屋上庭園から、富士山の頂上がよく見えるので、患者さんの楽しみの一つにもなっています。山頂に色鮮やかなツツジが咲く光景は、まるで赤やピンク色の帽子をかぶっているようです。新芽が萌たち沢山の花々が咲く春は、生命力に溢れています。春の息吹に活力を頂きながら、元気に仕事に励んでいます。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科長) / 竹岡 照枝(看護師長)
道休 由佳里(看護師長) /
木村 優志(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
藤岡 真里子(栄養科) / 黒田 都(医事課主任) /
九鬼 宏美(総務課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

